モザンビークのいのちをつなぐ会
Bridge for Lives in Mozambique

MONTHLY NEWS LETTER ★ 2016年10月26日号

経済が低迷し治安が悪化しているモザンビーク。現地ペンバの青年有志のパソコンが壊れ、携帯は盗まれたため現在代替機調達中。ペンバでの活動の写真のご紹介は来月に。農村地区ではダムの建設を行っています。

Topic <1>
温暖化・食料安全保障対策として小規模灌漑ダム建設。
農村協働団体のバシールが指揮をとりマコミア地区にダムを建設中。

米国石油・ガス会社アナダルコの支援により現在マコミア地区に小規模ダムを建設中です。物価高騰と食料不足が相まって農業施策がさらに重要に！特に、主食となる米、豆、トウモロコシのニーズが高く、現在バシールと連絡を取り合いながら資金調達を方法を模索しています。

10月のコラム
ファンファン福岡・コラム
子沢山で大家族　アフリカ モザンビークのお墓作り
http://fanfunfukuoka.com/feature/61220/

♪ ナジャのアミーゴ公演 ♪
11月は関西公演！Qunchoさんやマリ共和国のパプゥさん等、多彩なアーティストとコラボさせていただきます。Come on！

11月～12月の公演スケジュールは ナジャのアミーゴ公演 で検索

Topic <2>
ナジャのアミーゴ公演 新聞掲載テレビ放映

毎日新聞朝刊（2016年10月21日付）に掲載していただきました。

毎日新聞　25　地域　2016年（平成28年）10月21日（金）

モザンビーク共和国のナジャさん

「平和取り戻したい」

マコンデ族の歌を披露

最貧国の一つ、アフリカ東海岸のモザンビーク共和国からマコンデ族の人気歌手、ナジャさん（29）が北九州市を訪れ、18日、小倉北区砂津のチャチャダウンで、アフリカ特有のリズムのマコンデ族の歌を披露した。

小倉南区朽網西に本部があるNGO「モザンビークのいのちをつなぐ会」（榎本恵代表）が招いた。

マコンデ族は主に同国の北部に居住する。内戦は終結したものの、政治的な混乱で南部の首都からの物資の輸送が滞り、経済的に苦しい状況が続く。

現地で学校建設などにも携わるナジャさんは「歌に人生の生き方を託し、平和を愛するマコンデ族の文化を知ってもらい、日本の人々の支援で平穏な日々を取り戻したい」という。公演では、天使を意味する「ライカ」や、浮気の怖さを描く「スクルサル」などを歌い、拍手を浴びた。

市内での一般向けのライブは次の通り。23日午後2時、小倉北区紺屋町、スタジオ「バプ・ボックス（有料）」。VIIIは6日午後2時、門司区西町、松浦ギャラリー。問い合わせは同会093・472・1444。【塩源】

マコンデ族の歌を披露するナジャさん

福岡放送（2016年10月25日）めんたいplusでは北九州市立朽網小学校での公演を放送！

『モザンビークのいのちをつなぐ会』
日本事務局：福岡県北九州市小倉南区朽網西3-12-6
ペンバ事務局：Rua sem Saida, Bairro de Natite, Pemba, Mozambique
ホームページ　http://www.tsunagukai.com/

口座番号
＜ジャパンネット銀行＞
本店：001　（普）4133553　エノモトメグミ
＜三井住友銀行＞　天神町支店：717　（普）1920099
モザンビークのいのちをつなぐ会　代表　榎本恵